

南会津 のうりん ニュース



今号の写真：桧枝岐歌舞伎

目次

トピックス

- ・第1回特産品開発講習会を開催しました
- ・南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました
- ・生きもの調査を実施しました
- ・株式会社しもごう農園がFGAP認証を取得！
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・農業水利施設の合同施設点検を実施しました

農林事務所からのお知らせ

- ・農作業中の安全対策を徹底しましょう！
- ・南会津で農業を始めてみませんか？
- ・南会津ふるさとワークステイ事業参加者募集中！
- ・南会津農林事務所公式インスタグラムについて

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品～赤かぼちゃパイ(手造り屋 ヤマサ商店(只見町))～
- ・南会津の仕事、のぞいてみました！
【有限会社共和林業 石川祐人さん・二宮優介さん】

第231号(令和8年7月3日発行) 福島県南会津農林事務所

トピックス

＼ 第1回特産品開発講習会を開催しました ／

5月27日、只見公民館で令和8年度第1回特産品開発講習会を開催しました。

来年度開通予定の八十里越街道を契機とした商品づくりを目的として開催したもので、南会津管内の4事業者が参加しました。

会の前半は、只見町職員から八十里越の説明を行ったほか、特定非営利活動法人素材広場 理事長 横田純子氏による講演、6次化サポートセンターから商品開発支援事業の紹介を行いました。横田氏の講演では、「地域素材の着眼点とアクセスがもたらす地域効果」と題し、地元の素材を活用した事例の紹介や顧客目線での商品開発の大切さについてお話しいただきました。

また、会の後半では地域にどんな素材があるか、また、商品開発のアイデアを参加者全員で話し合うワークショップを行いました。参加者からは山菜や米、南郷トマトなど、地域の魅力的な素材が挙げられたほか、生産過程で発生する副産物の活用や、通行客向けの体験メニューの提供など、様々なアイデアが話し合われました。



横田氏による講演



ワークショップ

(企画部)

＼ 南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました ／

5月11日、令和8年度南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました。

この会議は、各関係機関や団体が連携・協力して各種事業を効果的かつ効率的に実施するために開催しているもので、当事務所長をはじめ、町村農林担当課長、農業委員会事務局長、JA会津よつば田島営農経済センター及び南郷営農経済センター課長等が出席しました。

会議では、当事務所から県農林水産業振興計画の概要や各部の主要事業等の説明を行ったほか、各町村やJAからも主要事業等について説明いただき、各機関・団体の情報共有を図りました。

今後も引き続き、関係機関や団体と連携しながら各種施策を展開してまいります。



会議の様子

(企画部)

＼ 生きものの調査を実施しました ／

生きものの調査は、「ふくしまの農育」推進事業の一環で行われ、田んぼや水路といった身近な場所にいる生物、自然とのふれあい、自然環境やそれを育む農業・農村の有する多面的機能の大切さについて理解を深めることを目的としています。

今年は6月23日に只見町立朝日小学校、只見小学校、明和小学校の1年生から4年生の計80名が朝日小学校の体育館に集まって、田んぼに生息する生きものの生態などを学びました。

アクアマリンふくしまの職員が講師となり、児童に対し生きものの特徴や見分け方などの説明を行った後、児童達は朝日小学校周辺で捕まえたドジョウやカエル、タニシなどの様々な種類の生きもののほか、アクアマリンふくしまから連れてきたタガメやゲンゴロウなど、今ではめったに目にすることがなくなった生きものも観察し、みんな興味津々でした。

貴重な体験ができた1日となりました。



生きものの観察風景

(農村整備部)

＼ 株式会社しもごう農園がFGAP認証を取得！ ／

株式会社しもごう農園(下郷町)がふくしま県GAP(FGAP)認証(品目:穀物(米、そば))を取得しました。

4月30日、当事務所農業振興普及部の橋本部長から代表取締役 渡部勝男氏へFGAP認証証が交付され、渡部氏はGAPの実践により安全で高品質な農産物生産に役立てていきたいと決意を新たにされました。

当事務所では今後もGAP認証の取得を推進して、安全な農作物の生産はもとより自然環境の保全や働く人の幸せにもつながる持続可能な農業の実現に向けて取り組んでまいります。



認証証交付の様子
(左:渡部氏、右:橋本部長)

(農業振興普及部)

＼ 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました ／

5月23日、南会津町まちの駅ふるさと物産館で令和8年度で初めてとなる「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

JA会津よつば田島営農経済センターの協力の下、物産館で会津田島アスパラを含めて、一定金額以上を購入された方を対象に、会津田島アスパラや南郷トマトジュースなどが当たる抽選を行いました。

当日は会津田島アスパラを求めて来館される方が多く、キャンペーンが予定時刻よりも早く終了し、改めて会津田島アスパラの人気の高さを目の当たりにしました。また、ベコ太郎(着ぐるみ)やアスパラを使用した料理を提供するキッチンカーも出店し、会場は大いに盛り上がりを見せていました。県内はもちろんのこと、県外からも多くの来客があり、たくさんの方に会津田島アスパラの魅力とおいしさを発信することができました。

今後も、当事務所では「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンなどを通して、南会津の農林産物をPRする予定です。キャンペーンの情報については当事務所ホームページや公式Instagramに掲載します。今後も皆様の御参加お待ちしております！



アスパラ売り場の様子



プレゼントの当たる抽選の様子

(企画部)

＼ 農業水利施設の合同施設点検を実施しました ／

農業水利施設は、農産物の生産に必要な水を河川などから取水したり、排水したりする施設で、皆さんの身近にある田んぼ脇の水路や、河川から取水する堰（「頭首工」といいます）、ため池などを言います。これらは地域の農業に欠かせないのはもちろん、大雨時には洪水・浸水被害を防ぎ、施設を流れる水は消雪や防火に使われるなど多面的機能を兼ね備えた重要な役割を担っています。

そのため、県では農業水利施設の適切な維持管理を行うために、毎年各町担当課と合同の施設点検を実施しており、今年度は6月17日～24日の間に、管内で9箇所の点検を行いました。

合同施設点検では、コンクリートのひび割れや変形、金属部分のさびの状況に加えて、水門の場合は実際に操作して開閉状況なども確認していきます。点検結果は、施設の補修や改修の必要性を判断する材料となり、今後の維持管理計画に役立てていきます。また近年は、管理者の高齢化等により日常の手入れや点検の機会が減少し、これまで以上に施設の老朽化や劣化の進行が早まったり、不具合の発見が遅れたりすることが懸念されています。

身近な農業水利施設の劣化や損傷が気になった際は、早めに各町の担当課にご相談ください。



大金沢水路橋(只見町)点検風景

(農村整備部)

農林事務所からのお知らせ

— 農作業中の安全対策を徹底しましょう！ —

本年5月に、南会津地域で農業機械操作中の農作業事故が発生しました。農作業事故は、本人の肉体的・精神的ダメージにとどまらず、労働力の減少による経営の破綻や離農にもつながりかねないなど、周囲にも大きな影響を与えてしまいます。

次のポイントを守り、安全・安心な農作業を実施しましょう！

- ①作業前における機械の点検・整備及び周辺環境の確認をしっかりと行いましょう！
- ②道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など危険箇所の改善に努めましょう！
- ③可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう！
- ④シートベルトは必ず締めましょう！
- ⑤作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう！
- ⑥機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！



○問い合わせ先

福島県南会津農林事務所 農業振興普及部 電話 0241-62-5264

(農業振興普及部)

— 南会津で農業を始めてみませんか？ —

南会津地域(下郷町、只見町、南会津町)では、恵まれた自然と高冷地の気候を生かし、トマト、アスパラガス、宿根カスミソウ、リンドウ、水稻などの農作物が生産されています。

四季の移り変わりをダイレクトに感じられる南会津で農業を始めてみませんか？

当事務所では、随時、就農相談に対応しています。具体的に内容が決まっていなくても大丈夫です。就農に向けた心構えや必要な準備など、状況に応じたアドバイスをを行いますので、就農希望の方や農業に興味のある方はお気軽に御相談ください。

また、南会津地域の道の駅・まちの駅やスキー場において就農相談会を開催する予定ですので、こちらにも是非御参加ください。

- ・就農相談会in道の駅・まちの駅 令和8年8月～9月開催予定
- ・就農相談会inスキー場 令和9年1月～2月開催予定

【相談窓口】

南会津農林事務所 農業振興普及部 電話番号 0241-62-5264
// 南郷普及所 電話番号 0241-72-2243
就農コーディネーター(南会津) 電話番号 070-8801-4420
受付時間(平日 9:00～17:00)

(農業振興普及部)

— 南会津ふるさとワークステイ事業参加者募集中！ —

高品質な農産物の生産地で、自然が豊かでアウトドアも多彩の、ここ南会津地方。ここで、農作業体験や地域の方々と交流をしてみませんか？

当事務所では都市居住者等と農林業者との交流の促進等を通じて、将来の就農者の確保を目的として「南会津ふるさとワークステイ事業」を実施しています。

現地での農作業体験やオンラインでの農家との懇談の機会等を提供しています。両体験とも当事務所や各町村担当者との就農や移住の相談、空き家見学を併せて行うことが可能です。

募集期間:令和8年4月1日から令和8年11月13日

詳しい内容は、当事務所企画部のホームページに掲載しておりますので、南会津地方での就農に御興味がある方等に御紹介ください。

御不明な点は、企画部(0241-62-5252)までお気軽にお問合せください。

たくさんの御参加をお待ちしております！



農業体験の様子

(企画部)

— 南会津農林事務所公式Instagramについて —

当事務所では公式Instagramを開設し、南会津産の農林産物についての情報や各種イベント情報などを投稿しております。

今後も積極的に様々な情報を発信してまいりますので右の二次元コードもしくは下記URLより是非フォローをお願いします！

https://www.instagram.com/minamiaizu_nourin2/

また、福島県農林水産部では、公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」を開設しており、職員自ら自由な発想で企画・取材・編集し、県産農林水産物のおいしさや「福島ならではの」の魅力を伝える動画を制作しています。

当事務所職員が制作した動画も多数投稿されておりますので、こちらも併せて御覧ください！



MINAMIAIZU_NOURIN2

▲ 当事務所
公式Instagram
二次元コード



◀ 農林水産部公式
YouTubeチャンネル
二次元コード

(企画部)

コラム

キラリと光る南会津の6次化商品 ～赤かぼちゃパイ(手造り屋 ヤマサ商店(只見町))～

今回紹介するのは、只見町の手造り屋 ヤマサ商店が製造・販売する「赤かぼちゃパイ」です。地域団体商標にも登録されている奥会津金山赤カボチャを使用した自家製の餡が特徴的です。

奥会津金山赤カボチャは、一般的なカボチャと比べコクのある甘みがあり、熟成が進むと、食感はしっとりとしたものになり、さらに甘みが強くなります。その魅力を生かし、餡を丁寧に手作りしています。

そのまま食べてもちろん美味しいですが、トースターで2分ほど焼くと、サクサクのパイ生地、餡がトロトロになり、かぼちゃの甘みが口の中にさらに広がります。

店舗、オンラインショップにて販売中です。南会津の自然と生産者のこだわりが詰まった「赤かぼちゃパイ」、ぜひ御賞味ください。

📍 **【手造り屋 ヤマサ商店】**
只見町叶津入叶津30
☎ 0241-82-3401
HP <https://shop.yumekaidou.jp/>



南会津の仕事、のぞいてみました！【有限会社共和林業 石川祐人さん・二宮優介さん】

今回は、下郷町で1981年に創業した有限会社共和林業の従業員として活躍する石川祐人(いしかわ ゆうと)さん、そして代表取締役の二宮優介(にのみや ゆうすけ)さんにお話を伺いました。

【石川 祐人さん】

○なぜ南会津での仕事を選んだのでしょうか？

祖父が林業の仕事をしていて、今は叔父が2代目を継いでおり、その姿を小さい時から見て、将来は林業をやりたいと当時から思っていました。

私自身、出身は浪江町なのですが、保育園の卒園式間近で震災があり、父親の出身地の下郷町に避難してきました。その後、高校まで南会津で生活し、高校卒業後は、林業以外の道も知っておきたいと思い、本宮市の企業に1年勤めました。ただ、いずれは林業の仕事をやりたいかつたですし、体力的にもきつい仕事と知っていたので、やるなら若いうちからだろうと、退職して、「林業アカデミーふくしま」に入学しました。

せっかく林業をやるからには、自分に切れない木は無いと言えるくらいの職人になり、また、木の上と地上のどちらでも切れる職人になりたいと思っています。そのため、特殊伐採(住宅密集地や急斜面、高所等制約の多い現場で行う伐採作業)の仕事ができる企業に就職したかったのですが、高所での作業などもあり危険な仕事の特殊伐採を行っている企業があまり多くは無いんです。そんな中で共和林業が特殊伐採を行っていることを知り、「林業アカデミーふくしま」でのインターンシップを経て、就職を決めました。

○普段の業務内容を教えてください

除伐・草刈り・間伐・材出しなど、全般的に行っています。他にも送電線の線下伐採があり、下郷町の地域だけでなく、猪苗代町やいわき市の方まで行くこともあります。

○仕事をする上でのやりがいは何ですか？また、大変なことはありますか？

あまり考えたことないんですけど、日々成長していく自分を感じられるのはやりがいかもしれません。伐採したときは、いつも切った木の本数をカウントしていて、自分が今どのくらいできるのかをメモしています。以前の自分と比べて時、より本数が切れるようになっていたり、切り終わった後がより綺麗になっていると、成長できた実感が湧きます。

去年一番過酷だったのが、傾斜50度近くの場所で、間伐をする仕事でした。枯れ木ばかりで切る本数が多く、中々大変な現場でしたが、その時に切った木の本数が初めて100本を超えたことがあって、その時は、自分結構やれるじゃん、自分の伐採のスタイルが見つかったじゃんと思い、良い経験をしました。

○日常生活、休日の過ごし方について教えてください。

小学校6年生のころからレスリングをやっていて、今も週3日ほどやっているの、昼間は山で戦った後、夜は人間と戦っています(笑)。ジムが無い日は、家でトレーニングをしています。

休みの日は犬の散歩をしたり、伐採の動画を見て勉強したりと、のんびり過ごしています。

○南会津で生活することの魅力は何でしょうか？

一番はやっぱり自然豊かなところですね。都会とは違ってのびのびと生活できます。娯楽施設もあれば良いですけど、都会寄りの施設というよりも、せっかくの自然を生かした遊びの場がもっとあればいいと思います。

【(代表取締役)二宮 優介さん】

○今後、南会津へ移住を希望する、考える方は少なからずいらっしゃると思います。どういう方と一緒に働きたいでしょうか？

年齢はあまり気にしていませんし、最初は何も出来なくても良いと思っています。それよりも今日よりも明日、明日より明後日と、今日よりも明日の自分がちょっとでも良くなればという向上心のある方と働きたいです。そういう方がいると、経営者としても励みになります。また、あえて言うのであれば、感謝の気持ちを忘れない人、人にやさしくできる人ですかね。



二宮優介さん・石川祐人さん

石川祐人さん、二宮優介さん、お忙しい中ありがとうございました。

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

